

演劇と絵画にみる 江戸・明治

—歌舞伎はどのように描かれたか—

龍谷大学龍谷エクステンションセンター（REC）では、市民の方が「学究的に学ぶ」広場として、幅広い世代の知的好奇心に応える多彩な公開講座「龍谷アカデミックプラザ」を開講しています。主に本学のキャンパス内での対面形式に加え、多くの講座はオンライン形式でもご受講いただけます。この機会に、アカデミックな学びを深めてみませんか。

講師：寺田 詩麻

龍谷大学文学部 准教授

東京都生まれ。早稲田大学文学研究科博士課程後期満期退学。博士（文学）。2017年4月から龍谷大学に勤務。専門は近代以降の芸能、特に歌舞伎。著書『明治・大正 東京の歌舞伎興行—その「継続」の軌跡—』（春風社）、『歌舞伎登場人物事典』（白水社、共著）ほか。



▶ 講座概要

歌舞伎は江戸時代に始まった演劇ですが、現在までそのときどきの世相風俗に影響を受けながら独特の様式や内容を持つにいたりました。

この講座では、現在でも上演される江戸時代から明治時代の歌舞伎の作品をいくつか取り上げ、その内容を解説するとともに、江戸時代に大きく発展したメディアである絵画は、その上演についてなにをポイントとして描いているのかお話ししたいと思います。

▶ 開講日時 ※いずれも15：15～16：45に開講

【第1回】2026年2月 9日(月)「仮名手本忠臣蔵」とその絵 (1)

【第2回】2026年2月16日(月)「仮名手本忠臣蔵」とその絵 (2)

【第3回】2026年3月 2日(月)「青砥稿花紅彩画」とその絵

【第4回】2026年3月16日(月)「桐一葉」「沓手鳥孤城落月」とその絵

▶ 開講場所：龍谷大学深草キャンパス

▶ 定員：15名（対面受講の場合）

▶ 申込方法

申込締切：2026年2月4日(水)23:59

受講料：7,920円（税込）

詳細・お申込みについては、右記のQRコードを読み取っていただくか「龍谷アカデミックプラザ」と検索してください。



問い合わせ先：龍谷大学龍谷エクステンションセンター

E-mail：rec-l@ad.ryukoku.ac.jp

Tel:075-645-7892

Ryukoku extension lecture
龍谷アカデミックプラザ

